

平成24年度第3回芦屋市スポーツ推進審議会会議要旨

日 時	平成25年3月14日(木) 10:00~11:00
場 所	芦屋市役所北館 4階 教育委員会室
出席者	<p>会 長 岡田 明</p> <p>副会長 西田 俊一</p> <p>委 員 中村 整七, 野島 寛, 比嘉 悟, 平野 貞雄, 古津 純子, 山口 泰雄 (4名欠席)</p> <p>事務局 福岡 憲助教育長, 西本 賢史社会教育部長, スポーツ・青少年課(権藤 弘之, 大西 貴和, 寺本 三恵子, 石原 孝夫), 学校教育課(秋本 孝幸)</p>
会議の公表	<p style="text-align: center;">■ 公 開 □ 非公開 □ 部分公開</p> <p style="text-align: center;">< 非公開・部分公開とした場合の理由 ></p>
傍聴者数	0人

1 開 会

2 岡田会長挨拶

3 福岡教育長挨拶

4 議 事

・委員8名(市議会のため平野委員は途中から出席)の出席により審議会条例第6条第2項の規定により, 本審議会成立

・情報公開条例第19条(会議の公開)の規定により議事録等公開を確認

岡田会長 議題(1)「仮称:あしやスポーツ文化プラン(答申案)について

5回にわたる調査研究部会で, 慎重に審議してまいりました。部会では, 市民意識調査の結果, 市民スポーツの現況調査などを踏まえ, やっと素案をまとめることができました。それでは, 山口調査研究部会長からご説明をお願いします。

山口委員 「あしやスポーツ文化プラン(答申案)」を基に説明

比嘉委員 「あしやスポーツ文化プラン(答申案)」の7ページの4. 数値目標の4) ~スポーツクラブ加入率を40%になることを目指す。~とありますが, 民間のスポーツクラブも含まれているのでしょうか。また, 同じく7ページの4. 数値目標の5) ~兵庫一, 日本一を増やすことを目指す。~とありますが, 芦屋大学が日本一となってもカウントされるのでしょうか。

山口委員 まず、1点目ですが、「あしやスポーツ文化プラン（答申案）」の15ページの10にありますとおり、地域スポーツクラブ、民間スポーツクラブ、職場のサークルなど、すべてを含んでおります。ちなみにスポーツクラブの加入率は27.3%です。

2点目ですが、兵庫一、日本一のデータを事務局よりお願いします。

事務局(権藤) 昨年度の実績としては、届け出のあった兵庫一は46名でした。今後、こういった方々を増やしていきたいと考えています。

比嘉委員 この中には、芦屋大学の学生も含まれていますか。

事務局(権藤) 含まれております。

山口委員 全国一としてはどういったものがありますか。

事務局(権藤) ペタンクなどで全国1位となっておりますが、申請されていない方々もおられると思いますので、把握できていないものもございます。

山口委員 兵庫県も目標を出していますが、国体で8位以内としており、ピンとこないと思われる方も多いかもかもしれません。芦屋市としては、兵庫一や全国一の方が夢がありますし、目標としてわかりやすいと思います。

岡田会長 他にございませんか。

野島委員 「あしやスポーツ文化プラン（答申案）」の9ページの1. ライフステージに応じたスポーツの推進の5)～アスリートを増やす。～というのは、芦屋市の計画としてなじまないのではないのでしょうか。

山口委員 8ページのモデル図をご覧ください。政策目標の「ライフステージに応じたスポーツの推進」には5つの重点分野があり、まず、幼時から高齢者の実施者を増やすことが大事であろうと考えています。次に、生涯スポーツ（いわゆる楽しむスポーツ）について、例えばマスターズスポーツといったものがあります。35歳以上で5歳刻みで競技を行うものがございます。マスターズ水泳やマスターズ陸上、テニスなどもございます。大会に出て、素晴らしい成績を目指す。市民愛好者の中でトップを目指すといった新しい層も出てきたので、その方たちのサポートを行うために入れています。

西田委員 楽しむスポーツだけでなく、中学生、高校の年代で、芦屋市内でアスリートを目指す環境を整備するためにも必要と考えます。

岡田会長 他にございませんか。

平野委員 昨今、体罰の問題が多く、スポーツ界でも問題となっております。

「あしやスポーツ文化プラン（答申案）」の9ページの1. ライフステージに応じたスポーツの推進の〈具体的施策〉の6)～運動部活動における体罰やスポーツ指導における暴力を排除する。～にありますとおり、成果主義に陥らない。ということが言われています。私も芦屋市から1位が出ればうれしいですし、競技である以上、目指すのが必然であると思います。兵庫一、全

国一と成果主義の関係性について審議会としての考え方を密にしたいと思うのですが、皆さんいかがでしょうか。

山口委員 まさに今、柔道問題、その前には体罰による自殺者が出て、スポーツ界は体罰に対してどう対処していくか、そしてガバナンスをどのようにして高めていくかを調査研究部会にて検討してまいりました。ご指摘のように、成果主義、これはすなわち勝利至上主義と置き換えてもいいと思いますが、子供たちが楽しむこと、プロセスよりも結果だけを重視していることにあると思います。

これに対して、具体的施策として「あしやスポーツ文化プラン（答申案）」の6ページの4. 芦屋市におけるスポーツの課題の8）～スポーツ指導における科学的知識や倫理を身につけた有資格指導者の養成が求められています。～として掲げ、成果主義に陥らないで、子供たちの楽しむことを認める有資格者を増やしていくことに主眼を置きました。

平野委員 倫理の前に成果主義に陥らないなどの言葉を入れてはいかがでしょうか。

山口委員 それでは、成果主義に陥らないという言葉をごどこかに入れさせていただきます。

岡田会長 他にございませんか。

今回の「あしやスポーツ文化プラン（答申案）」は割と市民の方がわかりやすい文言になったと思います。本日も質問をいただきまして、微調整をふまえた上で、答申案を福岡教育長に提出させていただきたいと思います。

以上で、本会の審議を終了します。進行を事務局にお返しします。

事務局(権藤) 最後に本日のお礼のご挨拶を、西本社会教育部長からさせていただきます、終わりたいと思います。

西本部長 お礼の挨拶

以上